

## 子宮体癌と腫瘍関連免疫機構の関連性

### 1. 研究の対象

1990年1月から2018年8月までに当院で子宮体癌に対して治療を行った患者さんが対象です。

### 2. 研究目的・方法

近年子宮体癌の患者さんの数は増加傾向にあります。比較的早い時期での発見・診断が多いものの、10%程度の再発があると報告されています。多くの子宮体癌は子宮内膜から発生し、進展形式として筋層への浸潤を来し、リンパ節転移などで進行することが多い癌です。

他の臓器の固形腫瘍では腫瘍に対する免疫応答として腫瘍の中に入ってくる腫瘍関連免疫細胞 (Tumor-Infiltrating Lymphocytes : TILs) の有無が予後や悪性度と関連があると報告されていて、子宮体癌でも同様の報告があります。しかしながら子宮体癌は子宮内膜から発生し正常子宮筋層に浸潤することが言われており、腫瘍の正常筋層への浸潤部に存在する TILs を検討している報告は見当たりません。

そこで今回の研究では腫瘍内の TILs のみならず、腫瘍先進部の TILs を含めた分布・性状等と、子宮体癌の患者さんの予後や再発などの関連性を調べることで、免疫療法の進展に寄与出来得ると考えられます。

診療目的で検査された検査データや病歴等を用いる調査研究ですので、研究のために追加で検査を行ったり、新たな検体の採取を行うことはありません。また金銭的な負担が生じることもありません。

研究に協力いただいた方への直接的な利益はありませんが、この比較結果によって今後の免疫療法を含めた診療の一助になると考えられます。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報： 年齢、身長、体重、手術方法、子宮体癌の進行期、再発の有無、再発を確認した日、再発した部位、再発後の治療等

試料： 手術の際の病理スライド

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方

にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

防衛医科大学校 産科婦人科学講座

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話:04-2995-1511(内線 2363)

FAX:04-2996-5213

防衛医科大学校 産婦人科学講座 講師 宮本守員

研究責任者:

防衛医科大学校 産科婦人科講座 講師

宮本 守員